

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112F005		日本史概説 (General Statement of Japanese History)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部			氏名 八木 直樹 E-mail n-yagi@oita-u.ac.jp 内線 7976											
授業の概要	原始・古代・中世・近世・近代・現代と各時代の特色を踏まえながら、日本の歴史の大きな流れを講義します。本授業の目標は、中学校社会科の授業に必要な日本史に関する基本的な知識を習得・理解することです。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 日本史の基本的な知識を習得し、それぞれの時代の特色について説明することができる。																	
目標2 教科書に記載された事件・人物・用語を説明することができる。																	
目標3 時代の転換にかかわる歴史的事象について、その事象の意義や事象間の関連を説明することができる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 日本の成り立ちと邪馬台国																	
2 古代国家の形成とヤマト政権																	
3 律令国家の形成と平城京																	
4 平安京と貴族の政治																	
5 武家政権の成立と鎌倉幕府																	
6 武家政権の展開と元寇																	
7 南北朝の動乱と室町幕府																	
8 戦国の動乱と信長・秀吉の統一事業																	
9 江戸幕府の成立と幕府支配の展開																	
10 鎖国下の対外関係と江戸文化の発展																	
11 幕府政治の行き詰まりと開国																	
12 明治維新と文明開化																	
13 立憲制国家の成立と日清・日露戦争																	
14 第一次世界大戦と国際情勢																	
15 第二次世界大戦と戦後の日本																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	各時代(原始・古代、中世、近世、近代・現代)の授業が終了することにより、その時代の特色についてまとめる小テストを実施します。					工夫	その他の	なし。								
準備学修	教科書の該当箇所を予習しておくこと(15h)。																
事後学修	講義資料と教科書を通して講義内容を復習すること(15h)。																
教科書	教科書は指定しません。毎回プリントを配布します。																
参考書	中学校社会科歴史教科書、中学校学習指導要領解説社会編。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	試験	80%															
	小テスト	20%															
注意事項	なし。																
備考	なし。																
リンク																	
	URL																